



細江カトリック教会だより



晩秋 (10、11月) 号

〒750-0016 下関市細江町 1-9-15

☎083-222-2294

☎083-222-0970

ホームページ <http://hosoechurch.sakura>

晩秋に思う

本格的な冬が訪れる前の11月、教会は、この世の生を全うされた兄弟のために祈る時をもつようと、昔から死者の日を守ってきました。死者の記念は、毎日のミサでも欠かすことはありませんが、この日に、あらためて、先だった兄弟に思いを向けることは、日々生活に追われるわたしたちに、より大事なことを思い起こさせてくれます。死という現実は、かつて、人間の日々の営みと深いつながりがありました。現代では、進んだ医療技術の結果、寿命が延び、人は自分の家ではなく病院で亡くなることが多くなり、突然の事故や災害でもない限り、人の死は、どこか、縁遠い世界のことに思われるようになりました。

しかし、たとえ、人々の日常から死が遠のいたとしても、人間の世界から死がなくなったわけではありません。理由が何であれ、身近な方、愛する方が他界されると、人は言葉には表せない寂しさ、悲しさに襲われ、人間の無力さ、惨めさをとことん味わわされます。亡くなられた方との絆が深ければ深いほど、死が生み出す溝は、越えることが出来ないものとして人に迫って来ます。それは、ともすれば、人をあきらめと絶望へと人をいざないます。

人類は、その初めから、自分たちの間から取りさらされた兄弟のために、弔いという形で祈りをささげてきました。それによって死者がこの世界に戻って来るわけではありません。祈りを通して、死者がこの世界から姿を消し

たことを悲しむと、同時に、故人がこの世界に生きた日々を想起し、その存在を再確認してきたのです。多くの文化に共通する通夜 (wake) は、そのことなしに、死者の生きた証しがどこにも残らないとの思いからでしょうか。死者のために墓を建てる習慣は、そうした思いの延長上にあるのかもしれませんが、しかし、「千の風になって」の詩にあるように、死者は墓の中にはいない、と人はどこかで感じています。死者は、生きていたときとは違う形で、今も、どこかに生きています。

教会が死者のために祈るのは、こうした思いと無縁ではありません。教会が死者を弔う時、亡くなられた方だけでなく、人間として死をも味わわれた方、神の子イエスの死と復活を必ず思い起こします。復活祭のはじめに、復活徹夜祭 (Easter Vigil) を設けて、夜を徹して主の死を悼み、その苦しみと死を通して、人間の犯した罪

が赦され、新しい命、復活の命がもたらされたことを感謝の内に味わうように、教会は、亡くなられた方のご生涯を想い、その人生を通してもたらされた大きな恵みに感謝し、とりわけ、故人が、先に復活された主イエスのいのちに与る恵みをいただくことを願い、感謝と賛美をささげるのです。

慰霊の祈りをささげるとき、死という厳しい現実、主イエスの死と復活によって、全く新しい意味と希望がもたらされたことをあらためて心に刻む恵みを願いましょう。

作道 宗三 神父

* 挿入画 「秋のおわり」 ジョルジュ・ルオー



細江教会とわたし

日曜日のミサに日和山入口の坂道を登り、教会建築現場を目の前にすると、変わって来たな、と勝手に思ってしまう。40年ほど前は、旧聖堂の下、ステージの上に祭壇がある縦長の聖堂でした。その後、聖堂は二階に移り、半円形の、皆様が見渡せるものとなり、祭壇のスタンドグラス（佐藤様、中村様）や、山野様のパイプオルガンが設置され、教会らしくなってきました。この建物の“とりこわし”は勿体なく、残念に感じますが、法のもとでは仕方ないことと思います。

わたしは二十代前半、学校を出てすぐに、天使幼稚園の教師として勤務いたしました。田尾、中村、船木、桧垣先生等、ベテラン方の指導のもと、一生懸命働きました。園長の中山神父様の名が、助人（すけと）と聞いて、やはり教会の方だと、敬意をもって接していたことなど思い出します。

それから二年後、教会の方々のご指導に恵まれて、洗礼を受けました。その後、結婚して二人の子を授かり、天使幼稚園へ登園する子どもと共に、幼稚園と教会に通うことが日常生活となりました。

その後、大学の法学部を出る息子が企業に就職することが決まり、一安心した矢先、主人が病に倒れました。主人が亡くなってしばらくして、京都から息子が電話で「イエズス会」に入りたいと言ってきました。父親を失い、思い至り、神様の声があったのでしょうか。わたしは、いつも“普通が一番”と思っているので、すぐに反対いたしました。しかし、息子は企業に断りを申し出て、卒業して上智大学の神学部へ行ったのです。その時、わたしは、リントホルスト神父様にご相談しようと思いましたが、神父様は、息子の就職のための依頼かと思われたそうです。息子が、神父を希望していて、わたしは反対で悩んでいると申しますと、すぐに、「それはいい。十分だ、お帰りください」とおっしゃるのです。わたしは何も言えなくなってしまいました。それから、わ

たしは息子のことは、すべて神様にお任せすることにいたしました。

わたしの好きな言葉に、“すべての事には意味がある”というのがあります。悲しい時、困っているとき、うれしい時、いつも、この言葉を思うのです。

新聖堂が完成し、いつか息子神父が働く姿を想像しながら、それを喜び祝う日が来ることを楽しみにしております。思えば、丸川神父様から結婚のお許しと、子ども二人の洗礼と、多くの恵みをいただきました。心残りに思うことは、一度も、両親をこの教会へ案内しなかったことですが、幼稚園勤務を心から応援してくれていました。この教会では、トーラ、パラシオス、アルティリヨ、リントホルスト、アレックス、オマーリ神父と、各国から多くの神父様が働いてくださいました。有難うございます。わたしもこの年齢を迎えますと（88歳）、静かに日々が過ぎることを望み、終りの時は、神様と息子にしっかり頼ろうと考えているこの頃です。

増井文子



今を生きる

「立てば芍薬、坐れば牡丹、歩く姿は百合の花」 シャナリ、シャナリ。番茶も出花のキラキラしたい時期がわたしにもありました。

ところが米寿を迎えた今、「立てばフラフラ、坐ればペタン、歩く姿はヨーロヨロ」 オットット。となり果てました。目はしょぼしょぼ、耳は補聴器のお世話になり、部分入れ歯の助けを借りて噛む事が出来ている状態です。

自分ではまだクルクルパーになっていないつもりでも、クルクルまで来ているかも知れません。

でも、でも、全てを受け入れ、明るく、楽しく生きる術はしっかりと身につけていると自負しています。

十八歳の時、私はカトリックの洗礼を受けました。

^{じらい}爾来七十年、曲がりなりにも主に従って、主の道を歩んで来ました。

苦しい時も、悲しい時も、そして喜びの時も、主がいつも共に居て下さる事を確信しています。

これは大きなお恵み、只々感謝です。

梶谷 紀子



Happy birthday to Toan 10/3

10月1日はトアン神父さまの誕生日。
ベトナム青年たちがお祝いをしてくれました。



*プレゼントを贈られ嬉しい

神父さまの笑顔



ケーキと手作りの料理を準備した彼らの優しさに、次のステップのための勉強ばかり？の神父さまでしたが、青年たちのホットなひと時を過ごせ癒されたことでしょう。

ベトナム青年たちの紹介

・フック



ミサの侍者をしてもらっているフック君。日本語の朗読も一週間前からズーと練習していてとても Good。

毎日、ロザリオの祈りを一環唱えます。

勤務先は菊川の会社。そこから、バスで小月駅へ、小月駅から電車で下関駅へ、結構 道のりがあります。静かな素朴な青年。

・ニイ

ホーチミン近くの出身。小月の日清食品に勤めている24歳。何でも好きです。



・グエン タン ファット

姫路兵庫未来大学

21歳。さくら寮に住んでいる。テコンドーが好き。



・ゴディビン

ベトナム中部出身

27歳。買い物や歌が好き。仕事は、小月の日清食品。



*グエン ヴァン タイ

ベトナムの中部の地域の出身の24歳。彦島塩浜に住んでいます。食べるのは何でも好きで、趣味はサッカーの試合を見ること。



長府教会バザーの出店 10/20

秋晴れの日、長府教会のバザーへ彦島教会の有志と共に外庭で焼き鳥と野菜などを販売。少しは協働体一致ができたでしょうか。



*彦島教会はチヂミで賛同

美化活動 10/27

教会周辺の地域の清掃（ゴミ拾い）や、根付いている石垣の樹をベトナムの青年たちも頑張っており取り除いてくれました。

「ワァ〜！」綺麗になったね！と、清々しい気分。また、若い人達だけでなく高齢者も清掃活動に参加してくださって、ありがたい一日でした。これも宣教活動の一つになっていくと思います。道端のゴミは多くありませんでしたが、みんなで環境の事を考えていく良い機会になります。お疲れさまでした！



*崖の根深い木の部分を取り除く



死者の日 ミサ 11/2 (土)



*『死者の日』慰霊祭 長府教会聖堂

下関市は豪雨のための道路規制になり、かなり前から出発していたのに長府トンネルを迂回。しかも渋滞が発生していたので、ずいぶん遅くミサの開始となりました。

この日のミサは「死者の日」の長府納骨堂に納骨されている方のみではなく、他の墓地や納骨堂に埋葬されている方々のためにと、皆さまに呼びかけていました。数名の参加でしたが、故人を忍び、ゆっくり思い出を巡らす一時でした。来年は細江教会聖堂で執り行うことができます（協働体より）。

教会建替え状況 11月中旬

*聖堂玄関は



*教会聖堂を正面から



*覆いが取り除かれた 教会の全貌